

10月30日

夜行バスの重大事故発生に伴う注意喚起

ネパール在留邦人の皆様及び旅行者の皆様へ

在ネパール日本国大使館

（ポイント）

- 大型バスが川に転落し、少なくとも16名が亡くなる大事故が発生。
- ネパールでの交通手段は、安易に値段だけで決めず、天候、季節、道路運行状況、風評等を考慮して慎重に選んで移動してください。

（内容）

1. 10月28日早朝6時頃、ネパール首都カトマンズの東約80キロのダーディンでの幹線道路にて、サプタリ郡からカトマンズに向かっていた50名以上を乗せていた大型バスがトリシュリ川（Trishuli River）に転落し、少なくとも31名が死亡、16名が負傷する大惨事が発生しました。現在までのところ日本人被害の情報は入っていません。
2. ネパールでは、天候、季節、各種イベントにより交通障害が起こりやすく、予定通りに運行できないことが頻繁に起こり、各ドライバーはこれらで起こった遅延を取り戻すべく、過度にスピードを出したり、無理な運行状況下でも走行したりしたことにより、このような大事故が度々発生しております。交通手段選択時は、安易に値段だけで決定せず、天候、季節、道路運行状況、風評、各種イベントの実施状況などを考慮して慎重に選んで移動してください。

※ この情報は、お知り合いや旅行者等にもお知らせください。

※ 在留邦人で在留届を提出されていない方がおられましたら、大使館へ在留届を提出するようおすすめ願います。

※ 近く帰国・離任を予定されている方、または既に帰国されている方は速やかに大使館までご連絡下さい。

※ このメールの配信を希望されない方は、大使館までご連絡下さい。

大使館代表電話 4426680

※ 閉館時（休館日や夜間など）には、上記電話から緊急電話対応者に転送されません。